



シーナカリンウィロート大学 (SWU)  
社会学部政治学科 (タイ)  
チャナカーン デーンブガー  
Chanakan Dangbunga

<参加した留学プログラム>

明治大学政治経済学部による

「SWUからの短期留学生受入プログラム(2013年度)」と

「学部間交換留学生受入プログラム(2014年度)」

私はタイ王国シーナカリンウィロート大学 (SWU) 社会学部政治学科のチャナカーン・デーンブガーと申します。明治大学政治経済学部が実施した2013年度SWUからの短期留学生受入プログラムと2014年度学部間交換留学生受入プログラムを通じて明治大学に留学しました。

私はもともと小倉百人一首と日本の歴史、特に平安時代に非常に興味を持っていました。千年もの時を越えて受け継がれている百人一首が今も古(いにしへ)の人々の思いや自然の美しさなどを私たちに伝えていることが不思議で、読めば読むほど好きになりました。小野小町や伊勢大輔など多くの有名な歌人が平安時代に生まれたので、平安時代の歴史にも興味を持つようになりました。そこで、一度でも良いので日本へ行って、歌に歌われた場所を実際に自分の目で見たいと思っていました。

明治大学に留学したきっかけは、3年前に明治大学の関係者と出会ったことです。その方に明治大学の短期・長期交換留学プログラムについて紹介していただきました。自分の専攻は政治学です。この分野で明治大学のレベルが高いことに魅力を感じ、明治大学政治経済学部で留学しようと思いました。

明治大学への留学は、私にとって人生で最も大切なものとなりました。明治大学の先生方、政治経済学部の大六野耕作先生とゼミの皆さん、政治経済学部事務室の皆さん、また国際教育センターや日本語教育センターの皆さんにいつも優しく接していただきました。大学で勉強するだけでなく、明治大学の留学生向けのイベントを通じて、多くの場所を観光し、そこでしか味わえない様々な体験ができました。私は明治大学の留学生としてとても楽しく日本で生活を送りました。

日本、そして明治大学に留学したことで、日本の歴史、日本人の考え方、働き方、暮らし方をより理解することができました。私は古文や日本の歴史をより知りたいので、日本の大学院に進学しようと思います。明治大学は私の夢を叶えてくれるだろうと思います。

明治大学には日本人の学生だけではなく、違う国から来た留学生も多くいるので、話しをし、文化交流をして見識を広めることができます。違う国で、異なる文化や考え方、暮らし方の中で生活する中では、確かに分からないことがあるでしょう。でも、それを理解して受け入れるのがとても大事なことだと思います。この世界は違う種類の花が多くあるからこそ美しく見えるのです。人も花のように、国や文化によって違うから世界が美しく見えるのだと思います。



<一番左が筆者>

最後に、お世話になった明治大学の先生方、友達、そして日本で出会った皆さんにお礼を言いたいです。みなさんのお陰で、私は日本で充実した生活を送ることができました。今まで、ありがとうございました。明治大学に留学したことは私にとって忘れ難い思い出です。明治大学に留学することを考えている皆さん、皆さんも是非この貴重な機会を逃さないでください。

<この原稿はチャナカーンさん本人が執筆しました。>

---

**MEIJI UNIVERSITY**

明治大学政治経済学部が実施する学部間交換留学生受入プログラムの詳細については、次のウェブサイトをご覧ください。<http://www.meiji.ac.jp/cip/english/undergraduate/economics/df0k11000001ae8.html>